

# 「気づき」のポイントチェックシートの作成

## (1) 地域ケアシステム検討委員会での協議の流れ

	内容	出された意見
第1回 9月24日	地域住民、福祉専門職、行政の各グループに分かれて、気づきのポイントについて整理した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本人や家族が困っていないので、それ以上突っ込んで離せない。」</li> <li>・「専門機関に相談することで、大ごとになってしまうのではないかという懸念がある。」</li> </ul>
正副委員長会 10月29日	他機関協働連携を強化するための「気づきシート」「ジョイントシート」の機能にして整理した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアシステム検討委員会ではまず「気づく→相談する」をしやすくするための仕組みづくりを優先することとし、「気づきシート」の整備を行うこととする。</li> </ul>
第2回 11月19日	「気づきシート」のサンプルを提示し、どうすればもっと使いやすくなるかについて話し合った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談先が分かっているとハードルになる。」</li> <li>・「総合相談窓口のように対象者に関係なく相談できる窓口が分かればいい。」</li> <li>・「時間外はどうすればよいのか。」「シートの対象者は誰なのか。」</li> <li>・「住民向けと、専門職向けが必要ではないか。」</li> <li>・「試行的に配布してはどうか。」</li> </ul>
正副委員長会 12月14日	「気づきシート」の項目を整理した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の地区で試行的に実施する。</li> <li>・関係機関には、分野を超えた相談も一旦聞く姿勢、適切な機関につなぐ仕組みが必要。</li> <li>・相談者へのフィードバック方法の検討が必要。</li> <li>・相談を受けた後の専門職側のルール作りが必要。</li> </ul>
第3回 1月21日	「気づきシート」活用ルールについて検討した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細はフィードバックは不要だが対応していることだけでも教えて欲しい。</li> <li>・民生委員、福祉推進委員が受けた相談を、地区福祉委員会で振り返りができるようにしたい。</li> <li>・地域で気にかけていることが専門職に伝われば協働ができる。</li> </ul>
第4回 3月18日(予定)	「気づきシート」試行配布の結果報告	

## (2) 試行的配布

	配布地区	出された意見
地区福祉委員会	朝日ヶ丘地区、三条地区、潮見地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員、福祉推進委員だけでなく、一般住民にも配ると困りごとを抱えた本人の相談への促しになるのでは。</li> <li>・配布するには趣旨を記載しないとわからない。</li> <li>・緊急度は人によって異なると思う。</li> <li>・項目数はこれぐらいがちょうどよい。</li> </ul>